

評価確定日	平成 年 月 日
所管部課名	農林水産部 森林整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																																																																										
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果	[事業進捗の見込み]																																																																										
<p><b>[路線名]</b> 鍛冶台線</p> <p><b>[所在地]</b> 平鹿郡雄物川町大沢～ 雄勝郡羽後町上到米</p>	<p><b>[事業の目的]</b> 雄物川町と羽後町を結ぶ連絡線形として、森林の適切な維持管理と林業生産活動を促進し、更には山村の活性化を図るため林道を開設する。</p> <p><b>[総合計画上の位置付け]</b> 「あきた21総合計画 第2期」 ○施策名 豊富な森林資源の循環利用による林業の推進 ○施策目標 効率的な森林整備の推進 ○施策内容 林道・基幹作業道等路網の整備 密度：6.6m/ha(後期：H15～H17)</p> <p><b>[事業の内容]</b> ○森林管理道開設</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>H10再評価時</th> <th>今回再評価時</th> <th>差</th> </tr> <tr> <td>延長</td> <td>9.7 km</td> <td>10.0 km</td> <td>0.3 km</td> </tr> <tr> <td>幅員</td> <td>5.0 m</td> <td>5.0 m</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,350百万円</td> <td>1,154百万円</td> <td>-196百万円</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>H3～H16</td> <td>H3～H16</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>詳細測量結果による全体計画の変更(H15.4)</p>	項目	H10再評価時	今回再評価時	差	延長	9.7 km	10.0 km	0.3 km	幅員	5.0 m	5.0 m	0	事業費	1,350百万円	1,154百万円	-196百万円	事業期間	H3～H16	H3～H16	-	<p><b>[事業の経緯]</b> H3 事業採択 H3～H9 再評価時 4,799m 545百万円 H10 648m 75 // H11 856m 123 // H12 201m 101 // H13 1,221m 100 // H14 952m 110 // H15 0m 60 // 計 8,677m 1,114百万円</p> <p><b>[進捗状況]</b> ○投資済事業費 H10再評価時 545百万円 (47.2%) H15末見込み 1,114百万円 (96.5%) ○完成延長 H10再評価時 4,799m (48.1%) H15末見込み 8,677m (87.0%)</p> <p><b>[次年度以降計画]</b> 残事業量 1,291m 40百万円</p> <p><b>[長期継続の理由]</b> 全体事業費と地元負担の対応等を考慮して事業期間を見込んでいたが、順調に進捗し、平成16年度に予定通り完成の見込みである。</p>	<p><b>[社会経済情勢の変化]</b> ○地球温暖化防止森林吸収源対策として、これまで以上の森林の適切な整備が望まれている。 ○平成15年3月に「水と緑の条例」及び「秋田の農林水産業と農山漁村を元気づける条例」が制定され、多様な森林づくりの基盤として不可欠な林道の計画的な推進が重要となっている。 ○森林資源の変化</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>面積ha</th> <th>蓄積 m<sup>3</sup></th> </tr> <tr> <td>前回再評価時</td> <td>540</td> <td>92,249</td> </tr> <tr> <td>今回再評価時</td> <td>540</td> <td>116,410</td> </tr> <tr> <td>差</td> <td>0</td> <td>24,161</td> </tr> </table> <p>蓄積：森林資源の成熟による増</p> <p><b>[地元の意向]</b> ○適切な森林整備の基盤のみならず、広域的な活用のために重要な役割を果たす路線であり、早期完成を望んでいる。 また、完成後の利用者の利便性を確保するため、舗装についても望まれている。 <b>[環境対策]</b> ○土砂の流下防止を図るため、間伐材等を利用した木柵を設置するなど、環境に配慮している。 ○猛禽類については、現在確認されていないが、飛来確認・情報入手に留意し、確認された場合には「猛禽類保護の進め方(H8環境庁)」に沿い、適切な方策を図る。</p>		面積ha	蓄積 m <sup>3</sup>	前回再評価時	540	92,249	今回再評価時	540	116,410	差	0	24,161	<p><b>[整備効果]</b> ○当該路線の開設に伴い、利用区域内の間伐等が実施され、森林の整備・保全に寄与している。 利用区域内施業実績</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>主伐</th> <th>間伐</th> <th>植栽</th> <th>下刈等</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>H10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H12</td> <td>5</td> <td>20</td> <td></td> <td>28</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>H13</td> <td>10</td> <td>20</td> <td></td> <td>39</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>H14</td> <td>10</td> <td>15</td> <td></td> <td>28</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25</td> <td>55</td> <td></td> <td>115</td> <td>195</td> </tr> </table> <p><b>[費用の変化]</b> ○詳細測量結果事業費の減</p> <p><b>[効果の変化]</b> ○事業の効果に変化はない。</p> <p><b>[費用対効果]</b> 採択時：効果算定を実施していない 前回再評価時： // 今回B/C： 2.86 採択条件B/C=1.0以上</p>	年度	主伐	間伐	植栽	下刈等	計	H10				10	10	H11				10	10	H12	5	20		28	53	H13	10	20		39	69	H14	10	15		28	53	計	25	55		115	195	<p>平成15年度に掘削部は全線完了し、平成16年度に法面保護工を実施して完成する予定である。</p> <p><b>3 コスト縮減や代替案立案等の可能性の観点</b></p> <p><b>[コスト縮減の可能性]</b> ○平成15年度で掘削が完成するため、現地に適合した緑化工法を採用しコスト縮減を図る。</p> <p><b>[代替案立案の可能性]</b> ○なし</p>
項目	H10再評価時	今回再評価時	差																																																																												
延長	9.7 km	10.0 km	0.3 km																																																																												
幅員	5.0 m	5.0 m	0																																																																												
事業費	1,350百万円	1,154百万円	-196百万円																																																																												
事業期間	H3～H16	H3～H16	-																																																																												
	面積ha	蓄積 m <sup>3</sup>																																																																													
前回再評価時	540	92,249																																																																													
今回再評価時	540	116,410																																																																													
差	0	24,161																																																																													
年度	主伐	間伐	植栽	下刈等	計																																																																										
H10				10	10																																																																										
H11				10	10																																																																										
H12	5	20		28	53																																																																										
H13	10	20		39	69																																																																										
H14	10	15		28	53																																																																										
計	25	55		115	195																																																																										
再評価の結果		対応方針(案)及びその理由		公共事業評価専門委員会の意見																																																																											
<p>継続・中止</p>		<p><b>[対応方針(案)]</b> 計画どおり、平成16年度の完成を図る。</p> <p><b>[理由]</b> 適切な森林整備の基盤としてのみならず、森林の総合利用、広域的な利活用に重要な役割を果たすことから継続して実施する。</p>																																																																													